

## 令和3年度第6回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和4年1月27日(木) 午前10時00分～11時20分

2 開催方法 Zoomによるオンライン開催

### 3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名
中エリア連絡会	中区社会福祉課	飯塚 康敬
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣
	東区社会福祉課	久野 加津夫
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一郎
	西区社会福祉課	宮本 明浩
	南区社会福祉課	内藤 淳
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	今田 将晴
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実
	天竜区社会福祉課	内山 敦子
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり
		阿部 祥美
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛
		山下 由佳
		玉澤 卓也
		岸 直樹
		永田 貴裕
障害保健福祉課	生活・就労支援グループ	柴田 多美子
		山内 愛美

## 4 議事内容

### (1) 専門部会について

- 相談支援部会 委託相談評価ワーキング
- 相談支援部会 計画相談（サポートプラン）ワーキング
- 権利擁護部会 虐待対応ワーキング
- 地域生活部会 こどもワーキング

### (2) 日中サービス支援型グループホームの評価について

### (3) 地域体制強化共同支援について

### (4) その他

- ・拠点等検証委員会報告

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活・就労支援グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 無

## 7 会議記録

- (1) 専門部会について
- 委託相談評価ワーキング  
事務局より資料を元に報告  
<意見>
    - ・第三者評価については、多くの機関へ依頼をしているが設問内容は共通なのか。  
⇒（事務局）設問内容は、回答者によって異なる。
    - ・各センターへのフィードバックはいつどのように行なわれるか。  
⇒（事務局）現在示し方等についてワーキングで検討中。
    - ・今後、計画相談に関する評価の仕組みづくりを進めていくのか。  
⇒（事務局）対応については未定。
  - 計画相談（サポートプラン）ワーキング  
事務局より資料を元にサポートプランワーキングのメンバーとキックオフ会議日程（3月11日）について報告
  - 虐待対応ワーキング  
事務局より報告
    - ・ワーキングにおいて令和4年度に進捗管理会議をモデル実施していくことを検討している。各区において進捗管理を月に1回程度開催し、3か月に1回程度処遇困難事例をあげ、処遇検討を行う取り組みをしていければと考えている。
    - ・区担当者よりケース対応の困難感があるとの意見があったことを踏まえ、令和4年3月

には各区担当者の意見交換会を実施予定。

- ・ 区担当者が変更になることを踏まえて令和4年6月に区担当者と委託相談を対象とした研修を開催予定。

<意見>

- ・ 研修は管理職にも受けてもらえると良いのではないかな。  
⇒ (事務局) 研修の管理職受講についてはワーキングでも提案をしていく予定。

○こどもワーキング

資料を元に事務局よりアセスメントツールに関する活用と周知について説明

○各エリア連絡会における取り組み方針について確認

- ・ 中エリア：令和4年度からこども部会準備会という形で活動を進めていきたい。
- ・ 東エリア：6回の事例検討を外部機関も交えて開催する。大切な取り組みであるため地域に浸透していけるように進めていきたい。
- ・ 西・南エリア：設置している事例検討部会、こども部会、相談支援部会等で取り扱いをしていけるため、対応については検討していく。
- ・ 浜北・天竜エリア：まずは事務局でツールの有効性を実感するところから始めていく。
- ・ 北エリア：どのような会議体でツールの活用を行っていくのか検討中。

<意見>

- ・ 個人情報の取扱い等の課題から事例検討に関して保健分野の参加が難しいことがある。担当課との調整はどうなっているか。  
⇒ (事務局) 各エリアにおいて、関係機関との関係性を築きながら参加を促していただきたい。保健分野との調整で課題が出てくるようであれば報告していただきたい。
- ・ 18歳になる障がい児の虐待ケースの移行に関する課題についてワーキングで扱えないか。  
⇒ (事務局) まずは現状を把握し、対応について検討していきたい。

(2) 日中サービス支援型グループホームの評価について

事務局より資料を元に令和4年度の対応について説明

<意見>

- ・ グループホームとの連携が一番多い計画相談の意見を吸い上げる仕組みを検討してほしい。
- ・ 大阪市や名古屋市は明確な基準がある。構成員や当事者の着目点になるため、参考資料として提示してはどうか。

(3) 地域体制強化共同支援について

北エリア連絡会より資料を元に強度行動障害の方の支援者を支えるチーム作りについての経過報告

<意見>

- ・ケースを直接的に支援するだけでなく、エリア連絡会としてできる後方支援という取り組みが知れてとても参考になった。
- ・基幹相談支援センターとしても一緒に地域の支援体制づくりに取り組んでいきたい。

(4) その他

○事務局より拠点等検証委員会について報告

- ・先日、キックオフ会議を開催。メンバーは、就労、入所、居宅介護、グループホーム等様々な分野から参加。現状についての意見交換を行い、事業説明をする中で必要となる対応等についてご意見をいただいた。来年度はスケジュール立てて話し合いを進めていく予定。

○その他

- ・西南エリア連絡会において、防災ワーキンググループの取り組みをしているが、活動をどのように広めてくかが課題。研修等を開催する場合は、他エリアにも周知していきたい。

次回企画会議：3月3日（木）午前10時～